

別添資料

「My辞書」の活用について

経験と結び付けた語句の蓄積と吟味の繰り返し
(使うごとにセルを増やして蓄積していく。)

【語句を捉え直したり、他者の作成した短文での語句の使われ方の違いを蓄積したりする場合の例】

学年	表情で	一言で	言葉	辞書の意味	教科書での使われ方	考えてみよう!	My短文			ほかの使い方見つけたよ!	まよった言葉	選ぶ決め手	使った言葉	効果(○・△)気づき
							1回目	2回目	3回目					
1	(^-^) (^_-)	わらう	わらう	①よろこんだり、おもしろがったりして声を出す。 ②ばかりにする。	★ 1年 教材名	(1年生) みんな、けんばんはーもにかがうまくつけたので、うれしくなつて、わらいました。	(5年生) ぼくが失敗したことで母に笑われた。		一生懸命したことを笑われて嫌な気持ちになった。 (A君)					「笑う」はいい意味だけど、鼻で笑うは、意味がちがう。
3	(^-^)	わらう うれしい	晴れ晴れ	気持ちが明るく、すっきりしている様子。	3年	(3年生) 天が、ほら。 あんなに晴れ晴れしている。 ぼくらを見まもって……。 (詩)	(5年生) 女の人がお祭りの盆踊り大会で、優勝して、晴れ晴れとした顔つきで笑っている。 (Bさん)		女の人お祭りの盆踊り大会で、晴れの舞台でおどり、晴れ晴れとした顔つきで笑っている。 (Bさん)	わらう にっこり 晴れ晴れ 会心のえみ	すっきりした気持ちや「やったぞ!」を伝えたいから。	サッカーの大会でゆうしょうして、みんなの顔が晴れ晴れしていた。	○ 先生が、たっせいかんが伝わるとほめてくれた。	
5	(^-^)	わらう	会心のえみ	物事がうまくいって、心からにっこりすること。	5年	(5年生) 図工で苦労しながら作った作品が完成して、会心の笑みをもらす。				わらう にっこり 晴れ晴れ 会心のえみ	その時の笑い方を表現したかったから。	委員会の全校発表が、計画通り成功して、「やったあ」と思った。	△ 読んだ人に、ぼくの気持ちがあまり伝わってなかった。次は、その時のみんなの表情を会心のえみで書きたい。	
4	(^-^)	うれしい	うかれる	うきうきして心が落ち着かない。	4年	(4年生) わたしは、4年生になったら、どんなことにチャレンジしようかなどと思ってうかれました。			楽しみだった遠足でうかれて、はめをはずしそうだった。 (Cさん)				うかれるは、うきうきした気持ちと、落ち着かない気持ちを表すことが多い。	
2	(^-^)	うれしい	うれしい	満足で幸せな気持ちである様子	2年	(2年生) 自分が食べたかったおやつが出てきて、うれしい。	(3年生) 学習発表会は、みんなで力を合わせて成こうしたので、うれしかった。			うれしい 楽しい うきうき	うきうきは、楽しみな時に使うから。	マラソン大会で1位になってうれしかった。	△ すごいうれしいのに、あまり伝わっていない。 次は、「うちょうでん」を使ってみる。	
5	(^-^)	うれしい	声がはずむ	うれしくて声が生き生きしてくる。	5年	(5年生) 妹は、「明日、ほしかったゲームが買ってもらえるよ。」と声をはずませて言った。			修学旅行の話になると、みんな声がはずむ。 (D君)	うれしい 楽しい うきうき	うれしい気持ちが声に表れているようにしたから。		○ 社会見学で、一番うれしかった時の様子を声がはずむで書く。	
6	(^-^)	うれしい	胸をふくらませる	希望や喜びで、心をいっぱいにする。	6年	(6年生4月) ぼくは、6年生になったから、がんばろうと胸をふくらませた。	(6年生10月) 中学校の部活体験をして、中学校生活に胸をふくらませました。 (Eさん)		中学校の部活体験で優しく教えてもらって、心配だった中学校生活に、胸をふくらませた。	うれしい 楽しい がんばろう		1年の目標を立て、新年の始まりに胸をふくらませる。	○ 「がんばろう」より、期待が込められている感じがする。	